

貸借対照表

(平成26年 3 月31日現在)

天王寺 S C 開発株式会社

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	2, 647, 677	流 動 負 債	7, 233, 632
現 金 及 び 預 金	221, 887	1年以内返済予定長期借入金	2, 210, 000
営 業 未 収 金	1, 125, 763	1年以内返済予定預り保証金	369, 165
短 期 貸 付 金	1, 165, 138	未 払 金	1, 229, 617
前 払 費 用	3, 834	未 払 費 用	60, 062
繰 延 税 金 資 産	114, 811	未 払 消 費 税 等	73, 852
そ の 他 流 動 資 産	16, 241	未 払 法 人 税 等	322, 780
		営 業 預 り 金	2, 381, 153
固 定 資 産	23, 657, 915	預 り 金	322, 050
有 形 固 定 資 産	22, 751, 140	賞 与 引 当 金	52, 222
建 物 及 び 設 備	22, 174, 126	ポ イ ン ト 引 当 金	202, 144
構 築 物	34, 711	そ の 他 流 動 負 債	10, 583
機 械 装 置	64, 750	固 定 負 債	10, 738, 494
器 具 備 品	443, 485	長 期 借 入 金	2, 130, 000
土 地	25, 290	預 り 保 証 金	916, 757
建 設 仮 勘 定	8, 776	預 り 敷 金	7, 569, 546
無 形 固 定 資 産	101, 933	退 職 給 付 引 当 金	111, 900
電 話 加 入 権	2, 921	そ の 他 固 定 負 債	10, 289
ソ フ ト ウ ェ ア	98, 845	負 債 計	17, 972, 126
その他無形固定資産	166	(純 資 産 の 部)	
投 資 そ の 他 の 資 産	804, 841	株 主 資 本	8, 333, 466
投 資 有 価 証 券	5, 450	資 本 金	1, 800, 000
長 期 前 払 費 用	503, 981	資 本 剰 余 金	1, 012, 367
長 期 未 収 金	48, 435	そ の 他 資 本 剰 余 金	1, 012, 367
繰 延 税 金 資 産	197, 267	利 益 剰 余 金	5, 521, 099
そ の 他 投 資	54, 200	そ の 他 利 益 剰 余 金	5, 521, 099
貸 倒 引 当 金	△ 4, 494	繰 越 利 益 剰 余 金	5, 521, 099
		純 資 産 計	8, 333, 466
資 産 合 計	26, 305, 593	負 債 純 資 産 合 計	26, 305, 593

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

〔 平成25年 4 月 1日から
平成26年 3 月31日まで 〕

天王寺ＳＣ開発株式会社

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高 賃 貸 事 業 売 上 高		8,473,506
売 上 原 価 賃 貸 事 業 売 上 原 価		6,612,676
売 上 総 利 益		1,860,829
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		258,768
営 業 利 益		1,602,061
営 業 外 収 益 受 取 利 息	3,113	6,272
そ の 他 の 収 益	3,158	
営 業 外 費 用 支 払 利 息	141,889	142,538
そ の 他 の 費 用	648	
経 常 利 益		1,465,794
特 別 損 失 固 定 資 産 除 却 損	42,205	42,205
税 引 前 当 期 純 利 益		1,423,589
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	569,444	560,858
法 人 税 等 調 整 額	△ 8,586	
当 期 純 利 益		862,731

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

〔 平成25年 4 月 1 日から 〕
〔 平成26年 3 月31日まで 〕

天王寺 S C 開発株式会社 (単位：千円)

	株 主 資 本						純資産 合 計
	資本金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金		株 主 資 本 合 計	
		その他資 本剰余金	資本剰余 金合計	その他利 益剰余金	利 益 剰余金 合 計		
				繰 越 利 益 剰余金			
当 期 首 残 高	1,800,000	1,012,367	1,012,367	4,658,367	4,658,367	7,470,735	7,470,735
当 期 変 動 額							
当 期 純 利 益				862,731	862,731	862,731	862,731
当 期 変 動 額 合 計	-	-	-	862,731	862,731	862,731	862,731
当 期 末 残 高	1,800,000	1,012,367	1,012,367	5,521,099	5,521,099	8,333,466	8,333,466

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個 別 注 記 表

〔 平成25年4月1日から
平成26年3月31日まで 〕

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のないもの…… 移動平均法による原価法によっております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産…… 定額法によっております。

なお、建物については、自主的耐用年数にもとづく定額法によっております。

無形固定資産…… 定額法によっております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）にもとづく定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金…… 債権の貸倒による損失に備えるため、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金…… 従業員の賞与支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当事業年度に負担すべき金額を計上しております。

ポイント引当金… ミオクラブ会員に付与したポイントの利用に備えるため、当事業年度末において将来使用されると見込まれる額を計上しております。

退職給付引当金… 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

(4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

2. 貸借対照表の注記

(1) 資産につき設定している担保権の明細

(単位：千円)

担保に供している資産		担保権によって担保されている債務	
種 類	当期末帳簿価額	内 容	当期末残高
建 物 及 び 設 備	15,856,244	1年以内返済予定長期借入金	610,000
		長 期 借 入 金	2,130,000
計	15,856,244	計	2,740,000

(2) 有形固定資産の減価償却累計額

25,661,372千円

(3) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権	1,165,701千円
長期金銭債権	41,000千円
短期金銭債務	1,636,006千円

3. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

営業取引高	1,206,914千円
営業取引以外の取引高	18,613千円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度の末日における発行済株式の種類及び株式数

普通株式	42,000株
------	---------

5. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生主な原因は、ポイント引当金、減価償却費等の否認であります。

また、平成26年3月31日に「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)に定める復興特別法人税の1年前倒し廃止に係る法律「所得税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)が公布され、平成26年4月1日以降に開始する事業年度より法人税率が変更されることとなりました。

これに伴い、平成26年4月1日から開始する事業年度において解消が見込まれる一時差異等については、繰延税金資産及び繰延税金負債を計算する法定実効税率を37.96%から35.59%に変更しております。

これにより、相殺後の繰延税金資産が7,777千円減少し、法人税等調整額(借方)が7,777千円増加しております。

6. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については、預金や親会社に対する短期的な貸付に限定しております。

一方、資金調達については、営業取引にかかる資金は親会社からの短期の借入により、また、設備投資資金については銀行及び親会社からの長期の借入により、資金を調達しております。

営業未収金にかかる顧客の信用リスクは、経理規程に沿ってリスク低減を図っております。親会社に対する貸付金は親会社の信用リスクに晒されていますが、親会社のキャッシュ・フローは安定的で、外部格付けも高いなど、リスクは限定的であります。

また、営業預り金、未払金及び短期借入金は1年以内の支払期限であり、長期借入金は設備投資の回収フローに見合った返済計画に基づいて借入を行っており、固定金利を支払っております。預り保証金は商業施設の建設協力金として受け入れ、賃貸借契約に基づき定期的にまたはテナントの退店時に返還しております。預り敷金は敷金として受け入れ、テナントの退店時に返還しております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

(単位：千円)

勘定科目	貸借対照表 計上額	時 価	差 額
(1) 現金及び預金	221,887	221,887	—
(2) 営業未収金	1,125,763	1,125,763	—
(3) 短期貸付金	1,165,138	1,165,138	—
(4) 未払金	(1,229,617)	(1,229,617)	—
(5) 営業預り金	(2,381,153)	(2,381,153)	—
(6) 長期借入金(1年以内返済を含む)	(4,340,000)	(4,632,241)	(292,241)
(7) 預り保証金(1年以内返済を含む)	(1,285,923)	(1,283,394)	(△2,528)

※ 負債に計上されているものについては、() で示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法

(1) 現金及び預金、(2) 営業未収金、並びに(3) 短期貸付金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(4) 未払金、並びに(5) 営業預り金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(6) 長期借入金(1年以内返済を含む)

長期借入金の時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

(7) 預り保証金(1年以内返済を含む)

預り保証金の時価については、返済金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品は次のとおりであります。

(単位：千円)

勘定科目	貸借対照表計上価額
① 投資有価証券	5,450
② 預り敷金	(7,569,546)

※ 負債に計上されているものについては、() で示しております。

①投資有価証券

市場価額がなく、かつ、将来キャッシュ・フローを見積ることができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、時価開示の対象とはしていません。

②預り敷金

返済スケジュールが未確定であり将来キャッシュ・フローを見積ることができないため、時価を把握することが極めて困難と認められるため、時価開示の対象とはしていません。

7. 賃貸等不動産に関する注記

(1) 賃貸等不動産の状況に関する事項

当社では、大阪府において、賃貸用の商業施設（土地を含む。）を有しております。

(2) 賃貸等不動産の時価等に関する事項

(単位：千円)

貸借対照表計上価額	時 価
22,216,605	57,462,000

(注1) 貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額を控除した金額であります。

(注2) 当事業年度末の時価は、「不動産鑑定評価基準」に基づいて自社で算定した金額であります。

8. 1株当たり情報に関する注記

- | | |
|----------------|-------------|
| (1) 1株当たり純資産額 | 198,415円88銭 |
| (2) 1株当たり当期純利益 | 20,541円22銭 |